



# 美波

谷屋（たんにや）資料館で出発

まちを活性化した功績と歴史から、新たな発想と人が結ぶ地域資源として廻船問屋「谷屋」を整備し地域の交流拠点としてスタート

# 議会だより

第58号

2020年（令和2年）  
9月定例会

9月補正の重要施策	p2
9月定例会の概要	p4
各議員の賛否	p10
一般質問もくじ	p11
あの答弁、ほのあとどないなっとなん!?	p21

題字「美波」  
由岐小学校6年 菊谷桃香さん



議会の詳しい情報が閲覧できます。



令和2年11月13日 発行：徳島県美波町議会

# 9月補正のコロナ対策予算

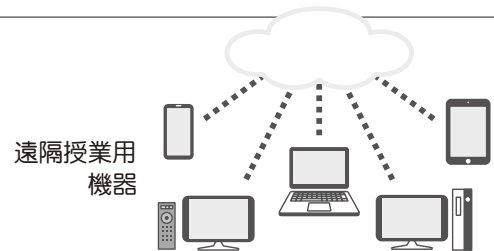
## 町民支援で地域内消費の喚起

地域商品券（1億3800万円） 町民一人当たり2万円（6500人）	
使 用 店 舗	「取扱店舗一覧（127店）」と以後の登録店舗（4店）で131店
使 用 期 限	令和3年1月31日



## 新時代への環境整備

庁舎内インターネット環境整備 (1672万円)
Wi-Fi 環境整備費（1283万円） Web 会議用機材等（239万円）他
小中学校遠隔授業の機器整備 (1140万円)
デジタルテレビ（43.9万円×26台）



## 町内事業者の事業応援

特定事業者応援金（830万円）	
対 象	宿泊業・運輸業で 上記事業者応援給付金対象となる方。
給付金	宿泊業（1事業者20万円） 運輸業（タクシー1台3万円）

## 医療機関の感染拡大防止

美波病院（673万円）
セミセルフレジ（237万円）、 ストレッチャー2台（193万円）他



セミセルフレジ

## 感染リスクの低減

小中学校トイレ等改修 (1731万円)
トイレの洋式化（48万円×12カ所）、 手洗い場自動水栓化（15万円×77カ所）



自動水栓



# 9月定例会の概要

(令和2年9月9日～18日まで10日間開催)

影治町長より、6月定例会以降の町政の進捗状況及び定例会に提案された認定2件、報告2件、条例議案1件、契約議案1件、補正予算議案6件、人事議案1件について、提案理由の説明があり、審議した。

## ◆議案第47号

町職員の特別勤務手当  
条例の改正

### 【改正の概要】

新型コロナウイルス感染症対策業務に係る防疫作業手当の改正をする。手当の額は、3千円（長時間の場合4千円）を支給する。

## ◆議案第48号

(仮)奥河内地区津波  
避難タワー新築工事請  
負契約の締結

### 【工事概要】

前野消防防災課長  
●一般競争入札の総合評価方式（入札参加1社、請負率91.6%）  
●契約金額  
1億5434万9800円  
●契約相手  
徳島市、(株)北島コーポレーション

【質問】 中川議員  
例えばPCR検査は支給に該当するのか。  
【答弁】 浜総務課長  
該当する。

### 【構造・規模】

鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積302㎡

【工期】  
令和3年8月5日まで  
浸水高約3mに対し2階避難階は6m、屋上階が9m。避難可能人数258人。

トイレは、2階倉庫に仮設トイレを設置して使用、1階部分については、地元自主防災会と共有して有効に使うのは可能。

【質問】 中川議員

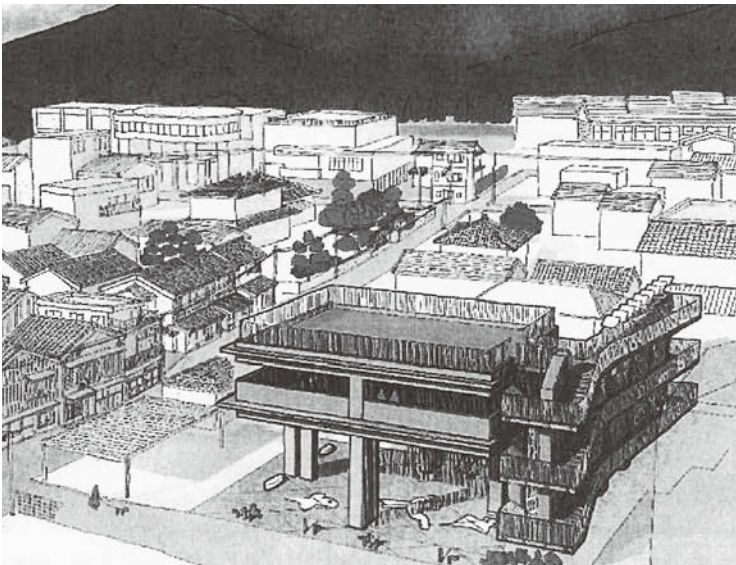
契約変更の条件はどうなっているのか。変更の場合は証拠となる写真、あるいは職員の立ち会いなどを予定しているのか。奥河内避難タワーの方はスロープが1箇所緊急時に250

人を想定した避難が間に合うのか。階段を、もう一つ付け加える予定はないか。

【答弁】 前野消防防災課長

契約変更は不測の事態、やむを得ない内容変更等による工期及び金額の変更に伴う。工事着手前の変更を見通すことは難しく新型コロナウイルスの関係で一部建築資材の納期が心配されるが、出来るだけ変更契約がないように努めていきたい。

現場での職員の立ち会い、確認をして業者と十分協議の上、進めていきたい。地形的な制約で避難する棟とスロープ棟を建設するようになっているが、自主防災会の協力で避難できるように考えていきたい。



奥河内地区津波避難タワー完成予想図

**質疑** 戎野議員

今度のタワーの雨水浸水対策は出来ているのか。電気・水道を一箇所くらい設備できないか。

**答弁** 前野消防防災課長

風雨はパネルを設置して防ぐ。  
トイレと電気は1次避難施設で長期避難は予定してないので非常用発電機を防災倉庫に備蓄する等自主防災会等と協議して対応したい。

**質疑** 山本議員

特定避難困難地域の基準はどのようなものか。  
工期（1年）が長く、現場が狭いため通行止め、迂回路の対策は。

**答弁** 前野消防防災課長

津波避難計画策定に基づき、時間とかの基準で定めている。住宅密集地域なので資材・建設機械搬入など住民の方と協議をお願いし、円滑にしたい。

**質疑** 宮原議員

7月1日の一般競争入札が1社と参加者が少なかった理由の分析は。総合評価落札方式が業者の負担になったのではないか。

**答弁** 前野消防防災課長

入札参加資格として町の参加資格登録名簿に記載、建築一式工事の徳島県の格付けが特A又はA級のもの。合計対象業者は39社になり、1社しかなかったことは密集している現場条件と技術者不足が考えられる。今回の入札だけでなく、前回、前々回も総合評価でやっており、業者の負担になったとは考えていない。

**採決結果**

可決（賛成10…反対1）

◆議案第49号

一般会計補正予算  
補正予算額  
3億9689万円

○財産管理費

**質疑** 山本議員

本庁舎の外装工事の内容は。

**答弁** 浜総務課長

31年経過しており、老朽化によりタイルが浮いてきているのを修繕する。

○補助金

**質疑** 向山議員

ワールドマスターズゲームズ2021関西の状況と、美波町競技実行委員会の状況は。

**答弁** 岸本政策推進課長

今の時点では予定どおり実施すると聞いている。委員会は、町内の各種団体、学校関係者、競技団体等、また日本トリアスロン連合、徳島県協会のメンバーの方で組織されているが、会合については、開かれていない。重要なことは文書で報告している。

○商工費

**質疑** 宮原議員

着地型観光企画実行事業委託料の内容は。

**答弁** 近藤産業振興課長

観光庁が観光イベントや観光資源をより安全で集客力の高いものへと実施する実証事業で今年度公募があったため、現在申請している。採択になれば、速やかに事業を実施したい。

○教育総務費

**質疑** 戎野議員

WiFi-Fi設定の内容、パソコンの台数は。

**答弁** 坂本学校教育課長

昨年度、小学校を整備し、今年度は中学校の各教室を整備する。タブレット端末では処理できない大容量のものはパソコンを使用する。小学校の各教室に一台ずつ、計16台の予定。



ワールドマスターズゲームズ 2021 関西のポスター

○経営所得安定対策制度推進事業費

【質疑】 向山議員

農業情報システムの委託料の内容は。

【答弁】 近藤産業振興課長

毎年、農家から出してもらっている営農計画書の申請手続きを簡素化するため、今年度から電子化に向けた体制整備を行う。

○予防費

【質疑】 北山議員

飼い主のいない猫への不妊・去勢手術助成金は有効に活用されるのか。

【答弁】 南住民生活課長

町内各地で野良猫が増加しており、エサやり、糞尿の被害対策に苦慮している。猫は登録の必要がないため、野良猫を見分けるのは難しいが、検討を重ねたい。

○博物館費

【質疑】 山本議員

うみがめ博物館改修の必要性は。

【答弁】 山本社会教育課長

文化について理解を深める機会を充実させ、国内外からの観光客の来訪の促進、文化、観光の振興、地域の活性化の好循環で町全体に波及すると考えている。

【質疑】 宮原議員

うみがめ博物館の委託料の内容は。

【答弁】 山本社会教育課長

展示計画委託料は、多言語化も含め調査研究するため。来館者快適環境調査委託料は、バリアフリーとかトイレの改修とか、快適化を行うもの。施設計画業務委託料は、バックヤードを改修し見せるようにするための計画。

●討論

【反対】 中川議員

商品券の利用について、もっと簡単にするべきだと思うので反対。

採決結果

可決（賛成9…反対2）

◆議案第50号

令和2年度国保会計補正予算

【質疑】

コロナウイルス感染症に伴う減免申請により、既に国保税を納付されている方への還付金75万円を一般財源で補正し、予備費（58万円）から充当した。

◆議案第52号

令和2年度診療所会計補正予算

【質疑】

コロナウイルス感染症対応として日和佐診療所には発熱患者検査用にユニットハウス設置。（120万円）阿部診療所には電子血圧計や空気清浄機などを購入。

◆議案第54号

令和2年度美波病院事業会計補正予算

【質疑】

アコーデイオンドア設置（約75万）、医療機器備品購入（約597万円）で672万円を補正。

◆議案第55号

人権擁護委員の推薦

濱高マユミ氏を人権擁護委員に同意。



亀の保護施設の改修



# 議員定数2削減は不採択

## ◆請願第1号

町財政の健全化へ向け、人口比例に見合うよう美波町議会定数の2削減を求める

請願者 田仁 理  
紹介議員 戎野議員

### 議会運営委員会審査

#### 〈委員会報告〉

8月18日に委員会を開催。審議で、請願の趣旨内容の調査を求める意見が平行情線であり、諮ると採決を求める意見が多数であった。採決の結果委員会は不採択。

### 委員会採決結果

不採択（賛成2…反対3）

## 本会議での審議

質疑 なし

### ●討論

賛成 中川議員

委員会は、定数削減効果等の調査は必要ないとなれば、請願者の願いに応えない。私は、採択し請願者や全町民に調査の結果を説明すべきと考える。

反対 松本議員

財政健全化は、決算書から健全で、議員定数は自治法上は最大18人で問題ない。それと、「年間2人で850万円の減が見込まれる」とあるが間違いでないのか、公文書だから金額を間違えるというの駄目と思う。

賛成 北山議員

委員会報告には、調査に

よる根拠が示されていない。請願は丁寧な調査研究の上、住民に結果を示すため再度検証、検討してもらいたい。

反対 丸龍議員

定数減のデメリットは、代表者を議会に送り出せず少数弱者の意見を封じることになる。

賛成 戎野議員

那賀町は、面積が5倍だが定数は14で、松茂町は人口倍以上だが定数は同じだ。請願者の想いを考慮して将来の人口に合わせた定数を準備すべきと思う。

反対 舛田議員

6年前2人削減の大改革をした。今は12人が最適だ。歳出削減というのなら、あくセス数の低いインターネット中継に140万円かける議論が先と思う。

反対 向山議員

町内状況を町政に反映させることや委員会運営等議会の役割を果たせなくなる。

### 採決結果

不採択（賛成4…反対7）

# 本会議は教員の 変形労働時間制、不採択

## ◆請願第2号

「1年単位の変形労働時間制」の導入に反対する請願

請願者 子どもと教育・くらしを守る徳島県教職員の会（代表 岡田美和子）  
紹介議員 中川尚毅

としている。8時間労働の原則が壊され学期中の労働時間が今まで以上に増え、過労死の危険性が高まる。長時間過密労働の解消に逆行する制度。

### 文教厚生常任委員会審査

#### 〈委員会報告〉

中川議員より「変形時間制は1日、8時間労働制をやめ、繁忙期は時間を長くし、閑散期は労働時間を短くする制度で、長時間労働を延長し、夏休みでの休日をもとめ取りで対応しよう

を強いられる。4%の教職員調整手当が残業代として支払われる過酷な制度のままである。研修の期間を奪い、健康を損なう職場になる。』との説明に、反対討論で『この制度は「働き方改革」であるから請願には反対』、『教員を増やす方法などもあり、賛成』の討論の結果

**委員会採決結果**

採択（賛成3…反対2）

**本会議での審議**

● 討論

反 対 丸龍議員

変形労働制の目的は多様な働き方に対することで、時間内に仕事をするだけでなく、仕事に応じて働き方を変えることで仕事・業務・効率化に繋がると考える。先生自身が時期を見越してメリハリを付けて働ける。

仕事の状況と先生の希望が合えば総労働時間減少に繋がる。夏休みのまとめ取りを現在やっており、この制度は必要ない。教育公務員は自治体の職員ながら給与は県からもらっている。県は既にこの条例を作っており、あとは自治体や各学校に1年毎の変形労働制が任されているわけだが、勤務の割り振りも困難で、夏休みの自由な研修などもできなくなる。

賛 成 戒野議員

今、教員の残業代は時間に関わらず、一定のみなし額が支払われる。実態は何倍もの拘束時間があり、更に持ち帰って自宅作業もやっている。このままでは過労死もあり労働軽減には8時間労働制の趣旨を守るべきで、1年間の枠へ広げることを危惧する。請願に賛成する。

賛 成 北山議員

この制度の導入は先生方の働き方改革の1過程であり、これを実施・評価・検証する事により働き方改革に繋がって行くので、この請願の採択には反対する。

反 対 向山議員

この制度の導入は先生方の働き方改革の1過程であり、これを実施・評価・検証する事により働き方改革に繋がって行くので、この請願の採択には反対する。

**採決結果**

不採択（賛成4…反対7）

**コロナ禍の影響に  
地方財源の確保を求む**

◆ 発議第7号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出者 松本議員  
賛成者 舛田議員

- ③ 地方税減収が予想されることから減収補填措置を講じること。
- ④ 税収が安定的な地方税体形の構築に務めること。
- ⑤ 特に固定資産税は町の基幹税であり制度の見直しは家屋・償却資産を含め断じて行わないこと。

【内容】

新型コロナウイルス感染症の拡大による地方税・地方交付税の激減が避けがたく地方財政が厳しくなる中、次ぎのことを国に要望する。

① 安定的な財政運用に必要な地方税、交付税の一般財源総額の確保充実。

② 地方交付税については、財源保証機能と財源調整機能が発揮できるよう総額を確保すること。

【質疑】 北山議員

固定資産税は町が使う財源で、国税には全く関係がないので書く意味がないのでは。

【答弁】 松本議員

固定資産とかは町の基幹税、つまり、町に入ってくるお金である。国の方は国税の5税があるのでそちらと違う。

消費税、酒税、たばこ税



とかが国の方から入ってきて地方に分配している。  
令和3年度についても、一般財源を確保する意味から書いている。

**質疑** 戎野議員

固定資産税について、将来の予防措置で書いているのだと言われたが、「家屋償却資産を含めて断じて行わないこと」と書かれているが具体的なものがあつて何を行わないようにと政府に求めていくべきではなかったのか。

**答弁** 松本議員

これは地方の税金で国の方から見直しとかがないようになして下さいという意味だ。今後コロナでしわ寄せがきているので町の基幹税なので触ることがないようにという意味で書いている。

**質疑** 中川議員

意見書は2番だけでいい

のではと思うが。

固定資産税の評価が国保税とかに関わって来るので「断じて見直しを行うな」とはちよつと言えないのではないか。

**答弁** 松本議員

国に対して臨時財政対策債が累積しないように、また財政保証機能と財源調整機能が出来るようなことを言おうとしている。

● 討 論 なし

**採決結果**

可決（賛成9…反対2）

**議長・議員の主な活動状況**

（令和2年6月定例会～令和2年9月定例会）

6月30日 全員協議会

● 奥河内地区津波避難タワー事業

7月2・10・13・14・16・20・22・27・30日 広報特別委員会  
（議会だより57号編集作成）

27日 差別撤廃要請行動  
（議長出席）

31日 徳島県議長会定例会  
（議長出席）

● 事業及び会計報告と事業計画を審議

8月6日 海部郡議長会総会  
（議長出席）

● 事業及び会計報告と事業計画を審議

18日 議会運営委員会  
● 議員定数の2削減を求め

18日 文教厚生委員会  
る請願審議

● 変形労働時間制に反対する請願審議

21日 総務産業建設委員会  
● 種苗法の勉強

21日 全員協議会  
● 議員4人の請求で「政治倫理審査会」設置

8月21・27日、9月7日 政治倫理審査会

9月2日 議会運営委員会  
● 第3回定例会の協議

9日 全員協議会  
● 北河内地区岩石採取場再開

18日 全員協議会

● 病院搬送業務と谷屋改装



### 第3回定例会 ◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案	
認定第1号	令和元年度 公営企業会計決算の認定
認定第2号	令和元年度 歳入歳出決算の認定
報告第7号	令和元年度 決算の健全化判断比率
報告第8号	令和元年度 決算の資金不足比率
議案第47号	職員特殊勤務手当の一部を改正
議案第50号	令和2年度 国民健康保険会計補正予算
議案第51号	令和2年度 介護保険会計補正予算
議案第52号	令和2年度 国民健康保険診療所会計補正予算
議案第53号	令和2年度 後期高齢者医療会計補正予算
議案第54号	令和2年度 美波病院会計補正予算
議案第55号	人権擁護委員の推薦

※議案の名称は短縮してあります。

### ◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆ 議長…— 賛成…○ 反対…× 退席…退

議 案	議 員 名	戒野	北山	川尻	山本	丸龍	舩田	松本	岩瀬	向山	中川	寺下	宮原	結 果
		博	朝彦	竹藏	正男	孝敏	邦人	晋児	公	篤宏	尚毅	博子	英夫	
議案第48号	令和2年度(仮)奥河内地区津波避難タワー新築工事請負契約の締結	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
議案第49号	令和2年度 一般会計補正予算	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
請願第1号	美波町議会議員定数の2削減を求める請願	○	○	—	×	×	×	×	×	×	○	×	○	不採択
請願第2号	変形労働時間制の導入に反対する請願	○	○	—	×	×	×	×	×	×	○	×	○	不採択
発議第7号	コロナ感染症の影響に対し地方税財源の確保を求める意見書	×	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

※議案の名称は短縮してあります。

## 11人の議員が町政を質す

松本議員	①密漁の現状と連携防止策は	p12
舩田議員	①インフルエンザ予防接種を無料化できないか	p12
丸龍議員	①密漁の取締強化。連携は	p13
岩瀬議員	①鳥獣被害防止対策の成果が上がっていない。抜本的な対策を	p13
寺下議員	①交通弱者への支援施策の充実を ②由岐支所機能の充実を ③安全な避難所を多く確保して欲しい	p14
宮原議員	①低所得者に心づかいしたコロナ対策事業は ②JR 四国との随意契約は適法か	p15
向山議員	①農林水産業の振興対策は ②鳥獣侵入防止柵等補助金交付要綱の充実を	p16
山本議員	①町政運営の取り組みは ②道路行政の取り組みは	p17
北山議員	①健康増進計画にコロナ感染症予防を含めては ②搬送業務変更の不安払拭を	p18
戎野議員	①「スーパーシティ構想」への応募とその取り組み	p19
中川議員	①事業者応援給付金の申請状況は ②防疫のために検査を定期的にやるべきだ	p20

※議員の掲載は登壇順ではありません。

一 般 質 問

1 密漁の現状と連携防止策は

答 弁  
取り締まりの強化や看板の設置を要望する



まつもと しんじ 議員  
松本 晋児



録画配信中

処分を受けている。8月27日、禁漁期間に伊勢エビを密漁していたとして、日和佐漁協の組合員ら2名が、徳島県漁業調整規則違反の疑いで逮捕された。このことが漁師間では大問題となっている。

密漁の現状と、防止対策、また、海上保安庁・徳島県・美波町・各漁協による連携対策は。

今後、少しでも密漁が減少する事を願う。

●答弁 近藤産業振興課長

密漁は、法令等に違反する行為であり、決して許される行為ではない。特に漁業権を持つ漁協、漁業者にとっては財産を奪われるも

8月に阿南市消防署員5名が明丸海岸でアワビ等を密漁し、海上保安庁で事情を聴かれている。昨年、8月には那賀町消防署員4名が日和佐のトモガキ海岸でアワビ等を密漁して新聞に掲載されていた。7月21日に町議員が由岐3漁協の禁漁区でタコかごを設置、操業違反として1年間の停止

のである。漁協としても海岸の見回りなど、海上保安部などと連携し、取り締まりを実施している。

海上保安庁美波分室によると管内での昨年1年間の密漁の検挙件数は22件、今

年8月までが9件となつている。町は、海上保安部や県に、密漁防止に向けた取締りの強化をお願いする。県へ、密漁防止の看板等の設置を、強く要望したい。

1 インフルエンザ予防接種を無料化できないか

答 弁  
今年に限り高齢者は無料



ますだ くにと 議員  
舛田 邦人



録画配信中

インフルエンザと同時流行を危惧する。そこでインフルエンザによる死亡率の高い高齢者（65歳以上）や抵抗力の弱い0歳から18歳までの子ども達にワクチン接種の無料化を実施できないか。

●答弁 井上健康増進課長

高齢者のインフルエンザ予防接種は、法改正により定期接種で行うことになつ

た。美波町では、昨年まで海部郡3町で委託契約（個人負担1000円、10月1日から接種）していた。今年度からは、かかりつけ医から接種できるように県の広域化委託契約（個人負担1600円、11月1日から接種）の参加を決めた。しかし、政府が高齢者を優先に接種する方針を示し、県は接種開始を10月1日とした。

今年度に限り個人負担金は町が全額助成（定例会終了後、県の全額助成に変更）することと決めた。よって、今年に限り高齢者は接種無料。0歳から18歳までの者は任意接種であるので助成対象としない。

質 問

新型コロナウイルスの収束が見えない現在、冬場の

### ①密漁の取締強化、連携は

弁 海上保安庁・県・漁協等と連携し取り組み  
答 む



がんによう たかとし 丸龍 孝敏 議員



録画配信中

#### 質問

本町でも近隣からの密漁が報道された。特にアワビ・トコブシ・サザエ・イセエビ等は沿岸域に生息し容易に採捕できることから密漁の対象とされやすい。密漁の発生状況では、漁業者による違反操業は減少しているが、漁業関係者以外による密漁は増加傾向にある。それを踏まえ、漁業法改正

(罰則が最大3年以下の懲役、3000万円以下の罰金)で密漁防止の効果が期待される。

そこで、古い防犯カメラや看板の取替、密漁防止パンフレットの配布、ドローンの密漁パトロール等啓発・抑止活動に補助できないか。また、本町主要道路入り口に密漁防止横断幕の設置のため漁業関係者と協議してはどうか。

●答弁 近藤産業振興課長 漁業法改正で本年12月1日から罰則が強化される。

海上保安庁・徳島県・警察・漁協等と連携し、町内の主要な箇所への横断幕の設置で、密漁防止の普及・啓発の対策を検討する。ま

た、防犯カメラの設置、ドローンによる密漁の監視については、漁協の要望があれば県と協議し補助制度を検討したい。

### ①鳥獣被害防止対策の成果が上がっていない。抜本的な対策を

弁 防護と駆除の両方で対策を講じる必要がある  
答 あると考えている



いさを いわお 岩瀬 公 議員



録画配信中

#### 質問

里山の崩壊とともに野生鳥獣(イノシシ、サル、シカなど)の出没により収穫前に被害が多発しており、

農作物を作る意欲までも失っていくと言う深刻な状況である。その被害は経済的損失にとどまらず、農村地域社会の崩壊をも招きかねないほど、甚大な影響を及ぼしている。

色々な被害防止対策(有害鳥獣駆除奨励交付金、鳥獣侵入防止柵設置事業補助金、狩猟免許取得補助金等)また、猟友会の協力を得ながら駆除を実施しているが、被害はますます深刻になっている。現状の被害防止対

策では、成果が上がっていないように見えない。抜本的な対策を。

●答弁 近藤産業振興課長 有害鳥獣による被害防止対策としては、防護と駆除の両方で対策を講じる必要があると考えている。駆除対策をさらに強化すべく今議会においてサル捕獲おりの導入に予算計上している。

猟友会の協力を得ながら捕獲おりの試験運用を開始する予定であり、必要に応じて拡充していきたい。また、県が実施している鳥獣被害防止対策指導員研修等も積極的に受講するなど指導員の育成強化に努める。

# 一 般 質 問

## ① 交通弱者への支援施策の充実を

**答 弁** 「高齢者タクシー利用料金助成事業」を充実させたい



寺下 ひろこ 議員



録画配信中

**質 問** 町の現状や、今後の方向性は。

●答弁 浜総務課長

「美波町高齢者タクシー利用料金助成事業」は、9月現在登録者数は約500人、毎月延べ400人を超える方が利用されている。予算面の考慮もして今後もこの事業を充実させていき



たい。

**質 問**

活用できる財源は。

●答弁 浜総務課長

過疎対策事業債のソフト事業分の充当が可能だが、全額を地方医療の確保対策として美波病院及び日和佐・阿部診療所の運営費にしており、一般財源での対応となる。

## ② 由岐支所機能の充実を

**答 弁** 支所機能の充実を図り、地域を衰退させない行政運営を進めていきたい

**質 問**

由岐支所は由岐地区住民の暮らしに密接にかかわる拠点である。今後の支所機能の充実等の方向性は。

●答弁 花木支所長

由岐支所では、平成18年の合併後、総合支所として業務を行い、業務内容は多岐にわたっている。業務分担の見直しや一元化・集約化など効率化を図り、職員数は合併当初の正規職員22名から、現在7名。由岐地区における「利用しやすい窓口サービスの維持」や「災害時の対応拠点」「地域の課題や自治活動の支援」機関として支所機能の充実を図り地域を衰退させない行

政運営を進めたい。

●答弁 影治町長

行政の根幹をなすのは職員であり、人材育成が基本となることから、不便を感じさせない対応ができる職員を育てていきたい。

## ③ 安全な避難所を多く確保して欲しい

**答 弁** 新型コロナウイルスとして、サブ避難所の確保を今後も検討していく

**質 問**

遊休施設の活用は。

●答弁 前野消防防災課長 サブ避難所として「文化



整備予定の長寿村

**質 問**

妊婦さんや乳幼児を抱える方への具体的な対応策は。

●答弁 前野消防防災課長

要配慮者として特別の対策が必要であり、避難所以外への避難、サブ避難所の開設、ホテル（ホテル白い灯台・国民の宿うみがめ荘）等の活用を考えている。また、大規模災害時には二次的な避難所として福祉避難所を必要に応じて開設する。

# 一 般 質 問

## ① 低所得者に心づかいしたコロナ対策事業は

**答 弁** 低所得者に特化した事業はない  
施策全体で考えている



みやらはら ひで お夫 議員



録画配信中

● **答 弁** 影治町長  
低所得者の方に特化した事業はない。議員から要望のあった事業者応援給付金は、倍の20万円としたこと等、低所得者の方も含め施策全体として、生活支援や消費喚起を考えている。

## ② J R 四国との随意契約は適法か

**答 弁** 鉄道の安全輸送が懸念される場合には、  
鉄道事業者と契約できる

### 質 問

J R 牟岐線雨水管渠かんきょ工事は、J R 四国と随意契約している。地方自治法では、随意契約は政令で定める場合に限りできる。町は、この契約を政令の規定に該当すると答弁しているが疑問である。随意契約した理由

### 質 問

は。  
いること。また、地方自治法施行令で、「契約の性質又は目的が競争入札に適しない場合」として、特定の者と契約をしなければ、目的を達することができない場合が示されている。このことからJ R 四国と随意契約した。

### 質 問

J R 四国との契約金額1億4、575万円を適正と判断した根拠は。

### 答 弁

 鶴木建設課長

町独自に、この管渠整備工事費の積算をし、1億1、500万円。J R 側の開示額は、1億1、300万円。適正と考えている。

### 質 問

コロナ感染拡大が続く中、住民一人当たり10万円の特  
別定額給付金、一人当たり  
2万円の地域商品券など、  
住民均一の施策が取られて  
いる。地域商品券は、例え  
ば対象者別に1万円から3  
万円等と差を付ける余地も  
ある。感染拡大による影響  
の大きい低所得層に配慮し  
た町独自の事業は。



2種類の地域商品券

### 答 弁

 鶴木建設課長

この理由は、建設工事の  
公衆災害防止対策要綱土木  
工事編第32条で「起業者は、  
鉄道敷地内又は鉄道に近接  
した場所で土木工事をする  
場合には、鉄道経営者に委  
託する工事の範囲及び鉄道  
の保全に関し、協議しなけ  
ればならない。」とされて

### 答 弁

 鶴木建設課長

鉄道の安全輸送への影響  
が懸念される場合には、鉄  
道事業者による工事の施行  
が示されている。

### 随意契約

競争の方法によるこ  
となく、任意に特定の  
者を選んで契約を締結  
する方法。随意契約は、  
政令で定める場合に限  
りできる。

# 一 般 質 問

## 1 農林水産業の振興対策は

答 弁  
各産業の振興に努力する



あつひろ 篤宏 議員  
むこうやま 向山



録画配信中

質 問  
きゅうりタウン構想は移住業者等美波町に成果はあったか。また、町内の2施設の活用状況と今後の計画は。

● 答 弁 近藤産業振興課長  
西河内に1名が就業しており、きゅうりを年間34万35万本生産している。体験交流ハウスは新型コロナウイルス

イルスの影響により今年は活用が出来ていない。今後は、活用方法を協議したい。



活用が期待される  
きゅうり体験交流ハウス

質 問

乙姫米・あきさかりの生産販売・推進は。

● 答 弁 近藤産業振興課長  
乙姫米の流通は確立しており、生産農家数の維持や拡大に努めたい。あきさかりについては今後の生産拡大を検討したい。

質 問

森林環境譲与税活用の進捗状況と今後の計画は。

● 答 弁 近藤産業振興課長  
関係団体で協議会を組織し、森林所有者への意向調査や準備作業を行っている。譲与税の残余額を基金として積立て、後年の事業等の財源としたい。

質 問

近年漁業による生計が難しくなっているように感じる。今後の町内の水産業の将来をどのように考えているか。

● 答 弁 近藤産業振興課長  
由岐地区内の漁協合併により、組織や経営基盤の安定が図られると期待している。今後は、観光漁業や六次産業、「つくり育てる漁業」について継続や検討をしたい。

● 答 弁 影治町長

磯焼けがすすんでいるため、元の海洋に戻す研究をお願いしたい。

質 問

産業施策等検討懇話会の現在の活動状況は、また、今後は積極的に活動して頂きたい。

● 答 弁 近藤産業振興課長  
町内産業を次代に繋ぐことを目的に5団体で組織する懇話会を発足させ意見交換等を行った。その後、町内産業振興・地域活性化施策のための提案を募集したが、その後の活動は出来ていない。また、今後の活動予定も今のところはない。

## 2 鳥獣侵入防止柵等補助金交付要綱の充実を

答 弁  
補助率については検討する

質 問

鳥獣被害は、後を絶たず町の防止対策はあまり効果を上げていないと思われる。現在の要綱の対象農家等に対しては補助率を上げ、また非農家等には、健康づくりや生きがい対策として

● 答 弁 近藤産業振興課長  
補助率は、防護方法により価格に格差があるため検討したい。  
非農家等を補助対象とするのは適切でないと考えている。



## ① 町政運営の取り組みは

答 弁

健全な財政運営に努めたい



やまもと まさお 議員  
山本 正男



録画配信中

ら分散型システム、地方への人口移動が増える方向への変化、地方創生への流れの加速化の材料にも繋がります。中長期的には、第2次美波町総合計画のテーマの1つであり防災減災の中の高台整備については、工事は9展開であるが基本的にはできるだけ早く仕上げたい。

質的な地方債残高22億6千万円であり早期健全化比率基準の25%を、大きく下回る5%である。積立基金は地方交付税の合併替え算定の優遇措置終了に交付税額の減少と美波病院事業の起債償還が始まった頃から取り崩しており現在の財政健全化判断比率は概ね健全だが「入りを量りて出ずるを為す」歳入を見込みながら歳出を考えるとということ総務課、財政担当とも協議をしながら健全な財政運営に努めたい。

### 質問

アフターコロナ等により、時代の変化に対応した政策は、長期的には高台整備、短期的にはコロナウイルス感染症対策等の課題にどのように取り組んでいくのか、又町財政の地方債残高増、積立金減の対応は。

### ● 答 弁 影 治 町 長

今後社会は都市集中型か

短期的にはコロナウイルス感染症防止対策等は収束に向かうことを願いまして美波町のビジョンである住んで良かったと実感できる町を目指して各種施策に取り組んで参ります。又財政については地方債は令和元年度決算で82億9千万円であるが元利償還金の7割、10割が基準財政事業需要額に参入され令和元年度の実



## ② 道路行政の取り組みは

答 弁

今後とも要望活動に努める

### 質問

高規格道路小野IC―新野ICまでの早期着工と完成、国道55号阿南バイパス橋町大谷山トンネルからの進捗状況、更なる南への延伸の要望等の取り組みは。

今後とも早期整備に向けて地域住民、市町、関係機関と連携して要望活動に努める。

### ● 答 弁 鶴 木 建設 課 長

高規格道路福井道路は延長9.6キロで令和2年度の用地進捗率は48%で事業進捗率は7%であり令和2年度は4億6千万円で調査設計及び用地買収手続きを進めていき小野IC―新野IC間はICの向きから桑野道路完成により利用可能となると聞いており、阿南バイパスについても更なる南への延伸の予定はないと聞いている。



## ①健康増進計画にコロナ感染症予防を含めては

**答 弁**  
計画改訂はしない、施策の実践で健康保持・増進に努める



あさひこ 北山 朝彦 議員



録画配信中

現状分析をしている。そこで、この「健康みなみ21」をコロナ感染症予防も含めたものに改訂すべきと考えるが町の考えは。

### 質問

コロナ感染症対策には、手洗い・うがい・咳エチケット、換気、不要な外出に加え、免疫力アップに適切な睡眠・運動・食事の必要性がある。「美波町健康増進計画健康みなみ21」でも食生活、運動、飲酒、喫煙、休養とコロナ対策につなが

●答弁 井上健康増進課長  
国は、コロナ感染症を新型インフルエンザとしているので、「美波町インフルエンザ等対策行動計画」を策定した。「健康みなみ21」は、生活習慣病の計画で国保会計や介護保険会計の健全運営が目的。コロナ感染症は、個別で対策を講じるので、健康増進計画改訂の考えはない。しかし、コロナ感染症は基礎的疾患者が重症化しやすいことから

「健康みなみ21」の施策を行い住民の健康保持・増進に努めたい。

## ②搬送業務変更の不安払拭を

**答 弁**  
海部消防の利用件数が増え心配ない

### 質問

令和3年度、搬送車の業務内容が変更になる。長年利用した由岐住民の不安は大きい。払拭には、住民への丁寧な説明が求められる。町は住民の意見や説明の場を設ける考えはあるか。

し、その他の時間は海部消防に救急依頼する。

周知は、10月に由岐地区へ業務時間の変更文書を各戸配布し、1月にチラシ再配布とシールを由岐地区住民対象に配る予定。

### 質問

持病のある高齢者は、夜に何かが起きた時スムーズな対応ができるのか心配している。住民の懸念を解く手立てを考えてもらいたい。

### 答 弁

花木支所長  
夜間の不安は察しているが、すでに平日のみと決ま



業務変更される搬送車

### 由岐地区への出動件数

年度	件数
平成27	53
平成28	72
平成29	114
平成30	124
令和元	153

っている。周知放送の回数を増やし知らせる。また、海部消防の由岐地区への出動件数(別表)が増えている。住民に心配をかけないと思うが、海部消防にお願いする。

# ①「スーパーシティ構想」応募で町はどう変わる

答 弁

オンライン授業も可能となる



えびすの 戒野 ひろし 博議員



録画配信中

## 質 問

スーパーシティ構想への美波町の特区応募が新聞報道されていたが、どの分野に取り組み、データ連携を図ろうとするのか。  
データ収集のための監視カメラ、顔認証システムの導入配置などプライバシー侵害の危険性はないのか。

●答弁 岸本政策推進課長  
「スーパーシティ構想」は『移動、物流、支払い、行政、医療・介護、教育、エネルギー・水、環境・ゴミ、防犯・防災・安全』の10分野のうち、5分野以上をカバーし住民参加で、よりよい未来社会の実現がなされるようネットワークを最大限利用する』内閣府の構想だ。

具体的には「止まらな通信網」を町内全域に拡大し、配置したセンサーで収集した情報をもとに、災害時対応を指す。平時の見守り、災害時の位置情報検知、河川の水位観測、道路等への

## 質 問

浸水計の設置など安全な場所からの確認ができる。

「通信網を町内全域に広帯域化させ、高度遠隔医療や次世代型交通システム、災害時に利用できる決済システムを構築する」とのことであるが、役場周辺の通信網とは何か。

広帯域化によりどの医療機関を遠隔診断できるようにするのか。美波病院と日和佐診療所など他の医療機関との診察データや投薬データの共有、連携はセキュリティ対策を含めて出来るのか。

●答弁 岸本政策推進課長  
通信網を町内全域に拡大すると共に多機能化し、「高度な遠隔医療などの整備」を目指したい。

## 質 問

コロナ対策のためにもタ

ブレット端末を活用した自宅でのオンライン学習に発展させることが出来るのか。

●答弁 坂本学校教育課長  
生徒一人1台の端末整備を国の補助事業で今年度中に行う。学校のWiFi環境を行った小学校に続き、中学校も本年度整備する。タブレット端末によるオンライン学習を行う環境づくりを進める。

ネット環境の無い家庭についてはWiFiルーター等を一部貸し出すなどを考えている。

## 質 問

情報漏えいの防止策、危険性は心配ないのか。個人情報提供の本人同意は取っているのか。

●答弁 浜総務課長  
情報の漏洩対策は、県が管理運営しているクラウドシステムサーバ利用により

そのリスクを最小限に抑えている。情報セキュリティポリシーを整備し、情報資産の無断持ち出し禁止、接続制限など対策は講じている。



一 般 質 問

1 事業者応援給付金の申請状況は

答 弁  
農業11件、漁業170件



なかがわ なおき 中川 尚毅 議員



録画配信中

質 問

事業者応援給付金の申請が半分に留まったのはどうしてか。

国保税コロナ減免の申請数、問い合わせや減免額はどうか。

財産調査に同意を求めるのは徳島県だけ、厚労省も求めてない。運用をいやすくしてもらいたい。

● 答 弁 近藤業振興課長

漁業170件、飲食業30件、小売業16件、製造業15件、農業11件、生活関連サービス業9件、建設、宿泊業各6件、専門サービス業4件、運輸業2件、ガス、福祉、学習支援、卸売業各1件。

個人261件、法人34件で、予定の約半分。

農業がこれから出てくる可能性はある。施設園芸の菊は影響が出ている。

「滞納」要件は、公平性から、削ることはできない。滞納が確認された場合、手続き保留の案内を送付して、完納された場合は給付している。

● 答 弁 別宮税務課長

国保税のコロナ減免は、8月31日で11件、207万3千円。

該当者全員に通知した。問い合わせ数に比べ申請数が少ない。

後期も減免があるので、モデルケースを掲載した広報をした。

後期は同意書を無くしたので、検討する。

2 防疫のために定期的に検査をやるべきだ

答 弁 マスク・消毒・換気・3密を避ける等の徹底が大切

質 問

無症状の人を早く見つけ、保護、隔離することが重要。特養、学校、病院で、PCR検査を治療でなく防疫の

ために定期的にやるべきだ。

厚労省は、関係者を広く検査することが可能という指示を出した。朝九時の睡液で、インフルエンザと同時に検査できる。高齢者施

設に勤務する人と利用者には、検査需要がある。美波町も、攻勢的な取り組みをすべきだ。

● 答 弁 井上健康増進課長

県はPCR検査体制を2倍にした。帰国者接触者外来は15か所、ドライブスルーの地域外来検査センターは2か所。感染症対策は、県に要望していく。

公的施設では、マスクの着用・手指消毒・施設の換気・3密を避ける等、基本的な対応の徹底が大切。公的施設での職員及び来庁者の定期的な検査は考えていない。

● 答 弁 影治町長

PCR検査は知事の権限で、町にはない。知事に要望をする方向でいきたい。

# 「あの答弁、ほのあとどないなっとな!?!」



## 〈6月定例会一般質問より〉



質問議員・質問内容

答 弁

現状と質問者の想い

山本

新型コロナ一億円事業立案の流れは。

各課提案の支援策をまとめた。



9月議会で提案された「地域商品券事業」は、町独自策として概ね評価できる。

宮原

高台9分割工事の事業費は。

事業費は、各工事で重複があり算定していない。



日和佐地区高台整備は約40億円と言われてきたが、内訳がない。これからも説明を求めていく。

北山

地震対応マニュアルの周知は。

協議のうえ、考える。



病院連絡バス地震発生時対応マニュアルは、定例会終了後、運転手と協議し避難場所地図に書き込み連絡バスに乗せているという。住民周知の必要性から、今後も質していく。

戎野

在宅オンライン授業に取組め。

費用面を検討したい。



「対面授業が大事であるがオンライン化への環境調査等は進めたい」と言うが、実現にはWi-Fiの調査と公費負担が必要と考える。

中川

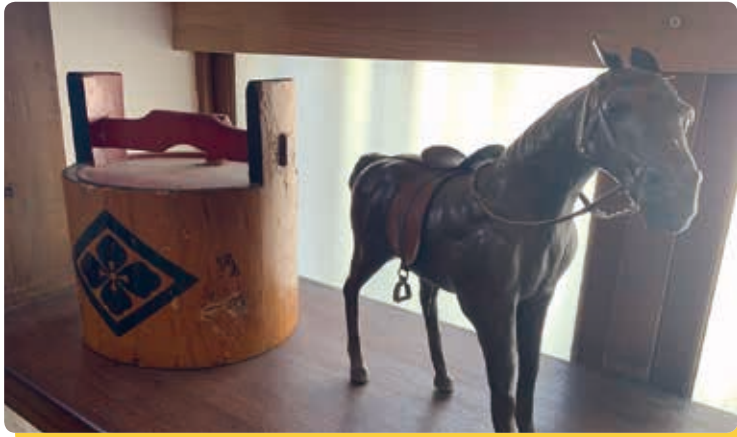
国保税のコロナ減税の窓口は。

税務課で受付受け付け審査する。



一般質問を参照。(20ページ)

# 我が家 & 私の宝物



茶房 たにひょう

谷 精一さん (81 歳)  
光子さん (71 歳)  
(奥河内)



廻船問屋「たんにゃ」を盛り上げた番頭の平野兵吉が、明治初期に、分家は本家より西に居を構えるという家訓にしたがい、商店「谷兵」を建てた。戦前は、山林を所有し、まきを船で堺に送り、帰りに酒や雑貨を仕入れていた。戦後、山林を失い、レストラン「たにひょう」を開いた。私は兵吉から5代目になる。沈金の重箱は自分で修理し、杉丸太をくり抜いた酒樽など盛んな時代の名残として店に並べている。



美波町になってから「議会だより」は今回で58号となった。回を重ねる毎に少しでも親しまれるよい広報となるようアイデアを出し合い、また創意工夫をしながら作業を進め、定期に発行できる運びになった。町民の皆様が何を知りたいか、どこまで詳しく知りたいか、また何を知らせるべきなのかについては特に苦勞をした。今後もレイアウトや掲載記事については検討や協議を重ねていきたい。

副委員長 向山篤宏

## ● 議会広報特別委員会 ●

〈委員長〉 戎野 博    〈副委員長〉 向山篤宏  
〈委員〉 北山朝彦    中川尚毅    丸龍孝敏    寺下博子

お問い合わせ・ご意見は TEL: 77-3630

徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1  
E-mail: gikai@minami.i-tokushima.jp